

2026年1月6日

大阪市企業人権推進協議会

西淀川区支部長 庄司 輝実

福島区・此花区・西淀川区3区支部合同現地研修会 報告書

1. 日程：2025年12月16日(火) 11時～16時15分
2. テーマ：「近江の被差別史を学ぶ」～大津駅周辺に存在した差別～

富楽明美氏ガイド

3. 場所・工程：

11時00分	JR 大津駅集合 昼食
12時30分	フィールドワーク出発
12時40分	長安寺一遍上人への信仰宿場町における被差別者の役割
13時00分	関蝉丸神社芸能者との信仰した神非人・遊女への差別
13時45分	東海道線のトンネル跡土木作業に従事した部落民
14時30分～16時	渡来人歴史館にて在日問題について講義受講・館内見学
16時30分	JR 大津駅解散

4. 参加者:13名

福島区支部 8名 此花区支部 1名 西淀川区支部 3名 事務局 1名

5. 学びと所感

大津駅周辺の被差別史を巡るフィールドワークに参加し、歴史が実際の土地に刻まれていることを実感しました。長安寺や関蝉丸神社では、宿場町や芸能・非人といった人々が置かれていた立場を学び、差別が社会構造の中でどのように形成されてきたのかを理解する機会となりました。

東海道線トンネル跡では、近代化の裏で部落民が担ってきた労働の歴史に触れ、普段の生活の背景にある見えにくい歴史を考えさせられました。渡来人歴史館での講義では、在日コリアンの歴史を通じて、差別の問題が現在にも続く課題であることを再認識しました。

今回の研修を通じ、被差別の歴史は特定の地域だけのものではなく、日本社会全体の歴史として向き合うべきテーマだと感じました。現地を歩いて学ぶことで理解が深まり、自分自身の価値観を見つめ直す貴重な機会となりました。

以上

【大津宿跡】



【長安寺】



【蟬丸神社】



【東海道線トンネル跡】



【渡来人歴史観】

